

社団法人東京都老人クラブ連合会

第1 監査の目的

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項に基づき、都が補助金交付等の財政援助を行っている団体に対して、財政援助に係る事業が、その目的に沿って適切に執行されているか監査を実施する。

第2 監査対象の概要

1 事業の内容

(1) 事業の概要

社団法人東京都老人クラブ連合会（以下「連合会」という。）は、昭和39年に設立された団体で、老人福祉法（昭和38年法律第133号）の精神に基づき、老人クラブの育成指導を図るとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進し、高齢者の福祉と明るい長寿社会づくりに貢献することを目的として、主として次の事業を行っている。

ア 老人クラブの育成指導及び老人クラブ指導者の研修

イ 高齢者福祉を増進するための調査及び事業の実施並びに広報

ウ 区市町村老人クラブ連合会との連絡及び調整

エ 関係行政機関及び諸団体との連絡調整

オ 高齢者の生きがいと健康に関する事業の受託

(2) 都との関係

都は、連合会に対し、老人クラブ等活動推進員設置事業等補助要綱に基づき、表1のとおり、平成17年度5,559万余円、平成18年度5,686万余円の補助金を交付している。

(表1) 補助金交付額の内訳等

(単位：千円)

| 区 分 | 補助率 (負担割合) | 交付金額 | | 補助対象経費 | 備 考 |
|--------------------------|-------------------------------------|----------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | | |
| 老人クラブ等活動推進員設置事業 (人件費) | 基本額の 10/10 (国庫補助 1/2) (都 1/2) | 27,644 | 27,864 | 老人クラブ等活動推進員及び事務職員に係る給料、扶養手当、調整手当、住宅手当、期末・勤勉手当、管理手当、通勤手当、超過勤務手当、社会保険料事業主負担金及び退職積立金 | <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ等活動推進員設置事業運営要綱 連合会の人件費4人分及び事務費に対する補助 |
| 老人クラブ等活動推進員設置事業 (事務費) | 基本額の 10/10 (都単独補助) | 1,345 | 1,345 | 補助事業の運営に必要な旅費、報償費、需用費(光熱水費、消耗品費、会議費、印刷製本費、修繕料)、役務費(通信運搬費、保管料)、備品購入費、使用料及賃借料 | |
| 老人クラブ友愛実践活動助成事業 | 定 額 (国庫補助 1/2) (都 1/2) | 18,000 | 18,000 | 友愛チームの活動に必要な旅費、需用費、役務費、使用料及賃借料、負担金及交付金 | <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ友愛実践活動助成事業実施要綱 友愛チームの活動に対する補助 月1,000円 |
| 老人クラブ健康教室事業 | 基本額の 10/10 (国庫補助 1/2) (都 1/2) | 6,951 | 8,000 | 補助事業の運営に必要な賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、備品購入費、使用料及賃借料、負担金及交付金 | <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ健康教室事業実施要綱 健康づくり支援事業 500万円(基準額) 東老連健康づくり大学校 300万円(基準額) |
| 高齢者相互支援推進・啓発事業 | 基本額の 10/10 (国庫補助 1/2) (都 1/2) | 1,652 | 1,652 | 補助事業の運営に必要な旅費、需用費、報償費、役務費、委託料、使用料及賃借料 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者相互支援推進・啓発事業実施要綱 モデル区市町村老連支援 年10万円など |
| 補助金交付額合計 | | 55,592 | 56,861 | | |

2 組織

連合会は、事務所を新宿区西新宿五丁目7番に置き、役員30名（会長1名、副会長4名、理事19名、常務理事1名、監事3名、相談役2名）（うち非常勤役員29名）及び職員4名をもって構成されている。

第3 監査の範囲及び実地監査期間

1 監査の範囲

平成17年度及び平成18年度の補助事業について実施した。

2 実地監査期間

- (1) 福祉保健局 平成19年11月1日及び同月26日
- (2) 団 体 平成19年11月19日

第4 監査の結果

1 事業実績について

平成17年度及び平成18年度における補助事業の実績は、表2のとおりであり、事業実績報告書を中心に監査を行い、対象事業の執行状況や経理状況について関係書類等を確認した結果、事業は目的に沿って適正に執行されている。

(表2) 補助事業の実績

| 事業名 | 年度 (平成) | 事業内容 |
|---------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 老人クラブ等活動 推進員設置事業 | 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ指導者研修の実施 14回、2,053名参加 ・老人クラブ育成指導 17回、2,520名参加 ・女性リーダー研修会 4回、290名参加 ・生きがい活動「社会奉仕の日」一斉奉仕活動の実施 53地区 など |
| | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ指導者研修の実施 11回、1,540名参加 ・老人クラブ育成指導 7回、1,110名参加 ・女性リーダー研修会 4回、362名参加 ・生きがい活動「社会奉仕の日」一斉奉仕活動の実施 53地区 など |
| 老人クラブ友愛実 践活動助成事業 | 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のひとりぐらしやねたきりの高齢者の家庭等を訪問 41地区で実施 訪問チーム数 2,224チーム、訪問対象者数 27,873名 |
| | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のひとりぐらしやねたきりの高齢者の家庭等を訪問 42地区で実施 訪問チーム数 2,645チーム、訪問対象者数 35,911名 |
| 老人クラブ健康教 室事業 | 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・筋力トレーニングと棒体操の普及、レクレーションダンス講習会の開催、ペタンクアドバイザー養成講習会の開催 など ・東老連健康づくり大学校の開催 開催回数 16回 受講者 40名 |
| | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・筋力トレーニングと棒体操の普及、レクレーションダンス講習会の開催、ペタンクアドバイザー養成講習会の開催、パッククッキング講座の開催 など ・東老連健康づくり大学校の開催 開催回数 15回 受講者 51名 |
| 高齢者相互支援推 進・啓発事業 | 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・モデル区市町村老連（中央区、豊島区、清瀬市、稲城市、青梅市） ・手引きの配布、友愛活動啓発ビデオの貸出し など |
| | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・モデル区市町村老連（港区、豊島区、青梅市、あきる野市、武蔵村山市） ・手引きの配布、友愛活動啓発ビデオの貸出し など |